

第2回 都立大学駅周辺地区 交通バリアフリー推進懇談会 議事録

日時：平成14年12月13日（金）19：00～21：00

場所：八雲住区センター地下1階 プレイルーム

1. 第2回懇談会の進め方について（目黒区より説明）

- ・ 第1回懇談会では、主に懇談会の位置づけや進め方に関する質疑の時間が多くなり、多くの参加者の方から、都立大学駅周辺地区の現状や課題に関する意見を十分伺うことができなかった。
- ・ 今回は、参加者の方々から都立大学駅周辺地区のバリアフリー化についての意見交換を主な議題とさせていただき、多くの方が発言できるような会の運営に努める。
- ・ （参加者から）配布資料中のチェック表に基づいて意見を聞いたらどうか。

2. 都立大学駅周辺地区の現状や課題に関する意見（参加者からの意見）

- ・ 駅と東急ストアでは、ここで買い物をした人がタクシーも拾えない。
- ・ 柿木坂の歩道幅員は、キャンパス側は2m以上、反対側は2m未満である。これらの歩行をスムーズにするために電線地中化すべきではないか。
- ・ 駅周辺では、お年寄りのために、町を巡回するデマンドバス等も必要。そのためのバス停を、東急ストアをセットバック（1スパン分）しても確保すべきではないか。
- ・ 目黒通りから駅側住友銀行前の放置自転車は歩行者のバリアになっている。
対策；段階的に対策を実施すべき。
- ・ 駅からキャンパスに行く経路はバリアが多い。歩道は誰のものか考えてほしい（都立大学駅前停留所のベンチ、三井住友銀行の所に放置自転車、目黒通りを渡るとポスト・放置自転車・商店からのはみ出し、急な坂 等）。
- ・ タクシー利用者の3/4はキャンパスを越えて医療センターに行く（500m範囲に限定しない）。だからシャトルバスが必要ではないか。（置き場所も考える必要がある）
- ・ 障害者の立場（八雲住区；3名、大岡山西住区；2名）で、パーシモンホール、図書館等は、バリアフリーが整備されていると思ったが、車いす以外の歩行困難者には使いづらい（客席の階段に手すりが無い等）。自由が丘はバリアフリーで難しい場所。
- ・ 体の不自由な方（片手不自由な方）が商店に行くと店の人来なくてよいと言われた。心のバリアを取り除くことが必要である。
- ・ 青時間延長の信号機設置については、良い事例だからもっとPRしてほしい。
- ・ 完成が平成22年は遠い話である。事業等の流れを年度別に工程表に示した方が、議論が集中して進めやすいのではないか。
- ・ タバコのポイ捨て防止の条例が区でできると聞いているので、そこに店からのはみ出し禁止なども入れたらよい。心のバリアフリーの点からも条例等で店主の良心を呼ぶようにしてはどうか。
- ・ 放置自転車対策も教育の問題である。
- ・ 放置自転車が一番のバリアとなっており、平町商店街などで歩きづらい

- ・ 東急ストア前のロータリーのゴミ箱に家庭ごみを入れる人がいる（撤去済み）。また、この周辺に駐輪する人が多い。東急ストアも駐輪対策すべきだし、駐輪する人のマナーもあげなければならない。
- ・ 柱等に自転車を止める人が多く歩けない（コーギーコーナーの近く）。罰金等を課しても良い。
- ・ 平町商店街では、夜に駐輪場のように放置している人が多い。
- ・ 放置車両対策は、警備員の人を置く等、近々対策が実施されないのか。
- ・ これまで放置自転車対策ができなかった経緯は何なのか知りたい。

次回担当（区）に出席をお願いし、説明できるようにしたい。

ハード、ソフトにわたり、住民の皆さんと話しながら放置自転車対策を進める

- ・ 都立大学周辺地区では自転車対策の協議会（準備会）ができています。
- ・ 中目黒駅では駐輪場を作っても、埋まらない状態で放置自転車はなくなってない。ソフトも含め考える必要がある。
- ・ 天気の良い日はいいが、雨の日など坂の所は歩きづらい。（柿木坂等）
- ・ 自転車対策は行政の姿勢次第。駐輪者のマナーもどんどん悪くなっている。禁止区域の張り紙をしても放置してしまう。徹底して撤去するなど、本気になってやる必要がある。バリアフリーも本気で行ってほしい。
- ・ 自転車駐車場の利用料金；目黒区...年間3,000円、他市...月間2,500円 自転車対策のための資金として活用するとの目的を明確にして料金を上げることも必要。
- ・ 国立医療センターは、大事な施設。（自由が丘からもバスが出ている）コミュニティゾーンの中で八雲商店街 八雲小学校 北へまっすぐ上がる道をバリアフリーの計画の中で位置づけてほしい。この道は中途半端に広く、車が多い。スピードを出すのが、歩道は十分に取れない。
- ・ 放置自転車者マナーが悪い。フードセンター付近は道が狭いのに、道に直角に自転車を止める人がいる。

皆でマナー等のルールを決める必要あり。住民がルールを作り、行政にも協力してもらおう。

- ・ 事例：大江戸線勝どき駅に駐輪場があり満杯、でも周辺には放置自転車はない。（周辺住民の暗黙の了解、ルールがある）
- ・ 駐輪場料金を高くすると利用しなくなるのではないかと。（若い人、車を利用できない人等）
- ・ 放置自転車の撤去は反対。買い物客で小1時間利用する人が自転車を持っていかれた。東急駐輪は端の方にしかない。駐輪場の料金を上げて財源にして駐輪施設を作り、条例をルール化し、それから撤去を行うべき。
- ・ 都立大学駅の駅勢圏、福祉センターの利用状況、医療センターへのアクセスなどを把握する必要がある。また、重要な施設への範囲外からの動きも考慮すべき。
- ・ 自転車の利用圏も少し把握し、近い人には遠慮するようなルールが必要ではないか。また、道路に駐輪場を作る事例等を整理してほしい。
- ・ 自由が丘で東急コーチが運行しているが、都立大学駅から医療センターへのコーチ運行は、ロータリーがない、利用者等の理由から運行は難しい。
- ・ パーシモンホールから医療センターへのルートが大事。
- ・ 放置自転車の2ヶ月に一度の撤去と駐輪場の利用料金との関係を考えるべきである。

- ・ バリアフリーのこれまでの積み重ねを整理すべき。
- ・ 工程等テーマを絞るなら分科会方式でやるべきだ。
- ・ 他の事例を紹介してほしい。
- ・ 呑川緑道の話し合いをしており、バリアフリー上も位置づけてほしい。そうすることで放置自転車対策も進められる。
- ・ 放置自転車のマナーの対策の例として、自転車利用者が誰でどういう組織の人か、持ち主の属性が分かるようにすればどうか。
- ・ 駅前広場（ロータリー）について、駅から少し離れていてもよいのではないか（100m程度）。例えば、呑川緑道の北側など、あまり使われない所を利用するのはどうか。そこから駅までをモール化することも考えられる。
- ・ 都立大学駅周辺は子どもの多い町で、公園デビューの場として都立大学跡地の公園が利用されている。
- ・ 中根公園に至る道も住民、特に子どもにとって大切な道である。
- ・ 碑文谷保健センターは、妊産婦の方が駅から歩いていくには途中が歩きづらい。
- ・ 自由が丘は中心市街地活性化を法人化として、まちづくりを提案して進めているようである。地域内だけでなく、全国からお客を集めようとしている。都立大学周辺地区は、近所の人、親子三代が楽しく住めるような町にしていきたい。
- ・ 目黒小学校の子どもたちが目黒通りの交差点部で自転車を止めないように呼びかけていた（総合学習として実施していた）。
- ・ 目黒区では閑静な場所を歩ける楽しみがある。呑川緑道は側道も含め緑道と思っている。このような道もバリアフリーに位置づけてほしい。
- ・ 他地区でも目黒区川沿いが人々の親しめる道にしたいという話がある。
- ・ 緑道の駐輪場は、暫定的なものとしてほしい。
- ・ 懇談会で語られていることの見解の保証はどうなっているのか。
- ・ 駅周辺など事業実現の見込みはあるのか（まちづくり総合支援事業等）。
- ・ 特定経路は何故一本なのか。
- ・ 範囲決定の理由はどのようなものなのか。
- ・ 12/8 に区民キャンパスで行われた身体障害者のイベントは、天候が悪かったためか、20人のうち歩きで来た人は1人で、他の方は車で来ていた。
- ・ 柿木坂は2時間で5~6人の車いすの方がいらした。歩道に行く人が斜めになって危ない。雨風しのげる場所がほしい。多動症の子など車道に飛び出しそうで危ない。高齢者などには、途中休める場所があると良い。

3. 意見のまとめ

駅周辺について

- ・ ロータリー対策他（バスベイ、タクシーベイ等）
- ・ 東急ストアへの要請

放置自転車の問題

- ・ マナー
- ・ 料金
- ・ 駐輪場整備

柿木坂他商店

- ・ 歩道へのはみ出し他
- ・ 坂の対策

地域にとって大事な施設とルート

- ・ 医療センター
- ・ 碑文谷保健所
- ・ 中根公園

住民主体のルール作り

施設のシャトル・巡回バス・コミュニティバスの導入提案

4. 次回懇談会の進め方について

時間

- ・ あったかい時間帯がいい。
- ・ 夜であれば30分遅く
- ・ 土曜日でもいいが

進め方

- ・ 少人数単位で要望を聞く場がほしい。

場所

- ・ 八雲住区センター、プレイルーム

次回開催日程

- ・ 1/28（火）19：00～

以 上